

私たちは、魚でした vol.10

『北朝鮮のミサイル問題…』

文 作間 健太郎 text by Kentaro Sakuma

問題は挑発の為のミサイル発射だけではないと思います。発射したミサイルはご存知の通り、海に着弾しています。そうなる、何が起るのかを考えてみました。

段々性能が高まり射程距離が伸びていますが、ほとんどは日本海及び太平洋に着弾しています。それも1993年に初めて発射されてから100発以上も。

日本近海には様々な漁場があり、温暖化の影響からか本来獲れる魚介類が獲れない、獲れないものが獲れるという時代になってしまいました。あくまで私見ですが、ミサイル着弾による海洋汚染も海に影響しているのはゼロではないと思っています。

ミサイルの残骸はもちろん、何よりジメチルヒドラージンという燃料を使用しているとみられています。その燃料は日本では法律で厳重な管理が必要とされる「劇物」なのです。

その特徴としてアンモニア臭がして水に溶けやすく、液体は腐食性を持ち皮膚や粘膜に付着すると大やけどのよ



*Profile*  
北海道札幌市生まれ。札幌市在住。38歳。  
10代後半から起業する目標を持ち、31歳で自分のキャラクターを生かせる水産業・株式会社札幌大成を起業。現在7期目。10期目である2020年までの目標に向けて奮闘中。  
趣味は4年前から始めたゴルフ。趣味での目標は40歳までにクラブチャンピオン、後、北海道のトップアマチュア。

うな状態になり、発がん性まで持っています。その燃料を使用したミサイルが着弾すると、残った燃料が海に広がるのはもちろんの事だと思います。

人間より敏感な魚介類に影響がない訳はありません。

北海道だけのお話をさせていただくと、イカ、サンマ、サケだけではなく、他の魚種もどんどん水揚げが減り、需要と供給のバランスから高値になり、消費者が魚は高いから肉という心情に変わっているのが現状です。

更にはその海の幸を原料とする加工業者が廃業に追い込まれ、海の幸を荷物とする運送会社が鮮魚輸送の規模を縮小し一般消費者のみならず、魚離れは進んでいます。

もちろん当社も海産物だけでは先行

きが不透明ですので、現在は冷凍食品や冷凍野菜、お菓子類の販売を強化している程です。

海の状況が変わっている要因の温暖化はそう簡単には改善されませんが、ミサイル発射は止められるはずで

人類が目指している近代化や効率化、更にミサイルなどの必要のない武器により海を汚し、人類にとって必要不可欠な魚介類に影響を及ぼしている事は残念で仕方がありません。

このままでは更に輸入食料に頼ることになり、自給率が低下し、1次産業が成り立たず、結果6次産業化までが成り立たなくなることが予想され、食料不足が懸念されています…。